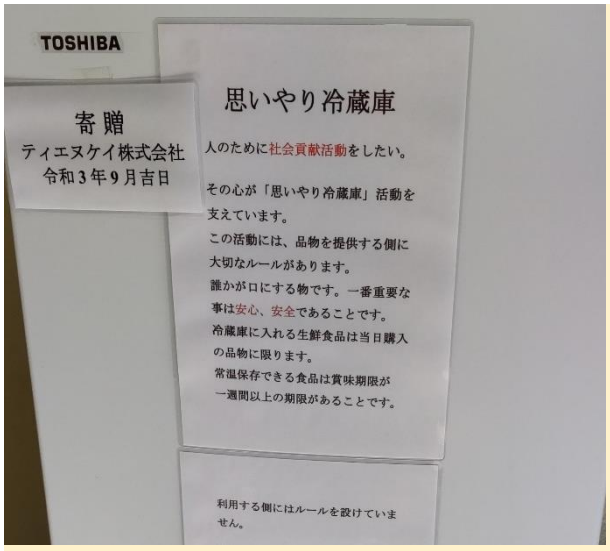
「思いやり冷蔵庫」思いやりを形に

11 月から「思いやり冷蔵庫」が始まりました。第１号は、「おれんちハウス梅田」の一室にあります。コロナ禍以前はこども食堂を定期開催していました。

冷蔵庫の中には新鮮な野菜や飲み物、その他、寄付として即席で食べられるカップ麺やお米、こども用の文房具やなどが置かれています。必要な方に、必要なものを必要な分だけ、持ち帰っていただくことができます。発起人はこども食堂支援協議会の鈴木さん。「本当に困った方に使ってほしい、次に来る人も受け取れるように『思いやり』の心で活用してほしい」と熱い眼差しで語る姿が印象的でした。

冷蔵庫には、こども食堂支援協議会から定期的に新鮮な野菜を寄付頂く他、おれんちハウス梅田からも飲み物やお菓子その他の寄付品を提供しています。

※思いやり冷蔵庫とは･･･食の支援が必要な方が自由に食材を受け取れるよう地域の拠点に冷蔵庫を設置する取り組みです。



「思いやり冷蔵庫」の思い、寄付をする方、利用する方のルールなど明記されています。

冷蔵庫設置に向けて打ち合わせ。左手前はこども食堂支援協議会理事長の鈴木さん。右手奥はオレンチハウス梅田（親隣館理事長）の渡邉さん。

取材日　：令和３年１１月４日　　参加者数：３０名

取材メモ：「思いやり冷蔵庫」と「思いやり」の気持ちが足立区中に広がるといいな、と思いました。（久米薫）

問合せ先：地域福祉課　☎６８０７―２４６０　FAX５６８１―３３７４